様式第３号（第１１条関係）

会　　議　　録

会議の名称	令和７年度 第２回吉川市市民参画審議会
開催日時	令和７年１０月１４日(火)　午前　９ 時 ３０ 分から 午前 １１ 時 ２５ 分まで
開催場所	吉川市役所２０１会議室
出席者氏名	（敬称略） 坂野喜隆会長、木村ミツ副会長、鈴木秀夫委員、廣瀬正子委員、 中西とき子委員、杉﨑則子委員、米田清美委員、斎藤和雄委員、 川口肇委員、野澤愛里委員
欠席者氏名	
担当課職員職氏名	市民参加推進課 青柳乃り恵課長、中井孝幸主査、岡庭侑香主任
会議次第 及び会議の 公開又は非公開の別	【第２回　審議会次第】 １　開会 ２　会長あいさつ ３　議事 第１号　令和７年度 第１回審議会にて選定した協働事業の第三者評価について 第２号　令和７年度 市民参画手続の進捗状況について ４　閉会 【会議の公開又は非公開の別】 すべて公開
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	
傍聴者の数	３名
会議資料の名称	資料１　　令和７年度 市民参画手続実施予定の一覧表 資料２　　令和７年度 市民参画手続実施結果の一覧表 資料２－１　令和７年度 市民参画手続実施結果【1. 審議会】 資料３―１～３　吉川市協働事業評価シート（第三者評価対象分） 別紙　　令和７年度 市民参画手続の進捗状況について
会議録の作成方針	□録音テープを使用した全文記録 ■録音テープを使用した要点記録 □要点記録
会議録確認指定者	斎藤委員、野澤委員
その他の必要事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）	
司会	定刻（午前９時３０分）により開会
坂野会長	**～会長あいさつ～** **～議事～** **〇第１号　令和７年度第１回審議会にて選定した協働事業の第三者評価について** **【老人福祉センター運営事業】**
坂野会長	事務局から説明願いたい。
事務局	１つ目の事業は、資料３－１「老人福祉センター運営事業」で、担当部署は長寿支援課である。それでは、担当部署より改めて事業内容をご説明いただきたい。
長寿支援課	本事業は、ＮＰＯ法人たすけあい・よしかわに委託という協働形態で実施している。老人福祉センターの指定管理者として施設の管理をするとともに、高齢者に対して各種相談に応じ、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションの供与などの運営をすることを目的としている。老人福祉センターは昭和５４年に設置され、平成１８年度から吉川市連合長寿会が指定管理者として運営していたが、令和２年度よりＮＰＯ法人たすけあい・よしかわが指定管理者となった。利用者について、令和２年度以降増加傾向にあり、管理運営にあたる費用は指定管理料として、市が予算を確保している。
坂野会長	今の説明について、何かご意見、ご質問等はあるか。
木村副会長	中曽根地区からは距離があるため、参加したいと思ってもバスを乗りついで老人福祉センターへ行くことが難しい。遠方でも利用できる方法はあるか。
長寿支援課	各老人クラブの寄り日に送迎を行っており、その他の日はご自身でバスや車を使って、お越しいただいている状況である。本件については、引き続き課題として検討していきたい。
斎藤委員	美南地区からは距離があるが、バスなど行くための公共交通は整っているので、行きたいという強い意思を持つことができれば、利用していいただけると考える。

広瀬委員	確かにバスは通っているけれども、駅南エリアにおけるバスの本数は激減しており、公共交通を使って老人福祉センターへ行くことは非常に困難である。 老人福祉センターは老人クラブに入っていなくても利用できるのか。利用できる対象者の範囲について、あまり周知されていないと感じる。
長寿支援課	個人単位で何方でも利用できる。６０歳以上の市民であれば無料で利用できるが、それ以外の方は１日２００円などのご料金をいただいているところである。実際にアンケート結果を見て分かるとおり、今は老人クラブに入っていない人の利用が多くなっている。初めての人が利用するには敷居が高いということであるが、気軽に利用できるよう、カフェを開いていたり、年２回新春演芸大会やフリーマーケットを開催し、無料で様々な方が利用できる機会を設けている。週１回のサロンは個人単位で参加でき、スタッフがイベントの進行をするので、初めての方が一人で参加されてもなじみやすいものとなっている。
廣瀬委員	イベントの周知はどのように行っているのか。
長寿支援課	広報よしかわの「公共施設のお知らせ」に掲載している。
杉﨑委員	アンケートを見ると、飲食など多岐にわたる要望があるようである。どのように要望に対応しているか教えてほしい。
長寿支援課	例えば、アルコールの取り扱いについてである。コロナ禍以前はアルコールを取り扱っていたが、コロナ禍で飲食を控えるようになった際、アルコールを取り扱わなくなった。それ以降、老人福祉センターの目的の１つには、健康増進ということもあるので、引き続き、アルコールの取り扱いは禁止とさせていただいている。お菓子については、場所と日時指定で召し上がっていただくことは可能である。
杉﨑委員	様々な企画で利用者が楽しんでいることが分かるが、どのように要望を聞いて、調整しているのか。
長寿支援課	アンケートで楽しかった、またやりたいという意見が多かった場合は引き続き実施していく。新しく要望があったものについては、利用人数や費用対効果などを踏まえ、次回以降取り入れるよう調整・検討している。
米田委員	老人福祉センターは何名で運営されているのか。

長寿支援課	法人のメンバーは約６名、その他パートの方９～１０名程度で運営しており、シフトを組んで対応している。
坂野会長	どのような方が利用できるかなどは周知徹底をお願いしたい。以前、連合長寿会で運営していた頃と比較し指定管理にしたことで、サービスの向上につながったかどうかなど利用者の目線が重要なので、ぜひそのようなポイントを加味して、引き続き運営してほしい。
	【コミュニティ協議会事業】
坂野会長	事務局から説明願いたい。
事務局	２つ目の事業は、資料３－２「コミュニティ協議会事業」で、担当部署は市民参加推進課である。それでは、担当部署より改めて事業内容をご説明いただきたい。
市民参加推進課	本事業は、吉川市コミュニティ協議会（１９団体加盟）と共催という協働形態で実施している。吉川市におけるコミュニティづくりを推進し、活力ある人間性豊かなまちづくりの実現を目指している。 事業内容としては、①夏休み期間、市内公共施設２カ所に児童・幼児を対象としたクイズを配置し、施設内を探検しながら配置されたクイズに答えていくクイズラリーを実施、②過去の悲惨な戦争を振り返り、平和について改めて考える機会を提供するとともに、平和への願いを次の世代に伝えていくことを目的として、小中学生を主な対象とした平和バスツアーを実施した。 クイズラリーを実施することで、クイズの内容が吉川市にちなんでいることから吉川市を知ることでき、さらに、公共施設にクイズを設置することで多くの方に公共施設を知っていただくことができた。その他、景品は市内業者に協賛していただき、市内業者のＰＲにもなっている。アンケートでは、「楽しみながら吉川市を知ることができ、良かった」との感想が多かった。また、平和バスツアーのアンケートでは、「自身では中々訪れない場所で、普段体験できないことを学ぶことができたので、大変良い機会になった」などの意見が多かった。 今後については、さらに市内様々な業者に協力依頼をすることで、新たなコミュニティづくりを図っていき、そして、クイズラリーの開催場所が２カ所だけでなく、協議会メンバーの開催するイベント会場でもクイズラリー事業を追加で実施するなどの工夫ができると考えている。

坂野会長	今の説明について、何かご意見、ご質問等はあるか。
米田委員	クイズラリー用紙は何枚配布したのか。
市民参加推進課	市内幼稚園、保育園、小学校に配布したのが６，０００枚程度であり、その他、各公共施設にも配布した。
杉﨑委員	平和バスツアーの行き先はどのように決めたのか。選定理由を教えてほしい。
市民参加推進課	事務局である市が案を出した上で、理事会にかけて決定している。案出しを行った後、会長に確認をし、実際に現地を見てみて適切なツアー先であれば理事会にかけるといった流れである。
坂野会長	クイズラリー用紙の作成費用はいくらか。
市民参加推進課	約７万円である。その他、参加賞は３万円程度となっている。なお、令和７年度の景品については、全て企業の協賛でまかなっており、景品の費用はかかっていない。
廣瀬委員	バスツアーについて、応募者多数の場合は抽選になるのか。
市民参加推進課	抽選になる。昨年度と今年は抽選している。様々な人に参加していただきたいので、参加したことがない方を優先させていただいている。
坂野会長	コミュニティ協議会の参加団体については多岐に渡っており、地域の様々な団体が入っていると思う。コミュニティ協議会で平和バスツアーを実施する意義の説明があるとより良い事業内容になると感じた。
斎藤委員	参加者２２名であるが、応募者は何名であったのか。
市民参加推進課	応募者は２９名である。２家族が落選した。安全面を考慮してバスの補助席を利用していないので、２４～２６名を定員としている。
	【市民交流センターおあしす指定管理者事業】
坂野会長	事務局から説明願いたい。

事務局	３つ目の事業は、資料３－３「市民交流センターおあしす指定管理者事業」で、担当部署は生涯学習課である。それでは、担当部署より改めて事業内容をご説明いただきたい。
生涯学習課	本事業は、ＯＩＴグループに委託という協働形態で実施している。市民交流センターおあしす、市立図書館、視聴覚ライブラリー、中央公民館図書室、旭地区センター図書室の管理運営に関し、指定管理者による適切な業務が遂行されるよう管理監督を行っている。平成２２年度から指定管理者制度を活用した管理運営を行っており、市とは毎月定例会を開催し運営状況や課題を意見交換しながら、適切に管理運営を行っているところである。おあしすの運営については、おあしす運営協議会を、図書館の運営については図書館協議会を設置し、市民にも委員として参画していただきながら、意見を頂戴し、施設の管理運営にあたっている。利用者の意見を反映してきた例としては、図書館内にカフェコーナーを設置したり、図書検索端末のマニュアルの設置、展示ギャラリー壁面の修繕、駐車場の案内表示の設置などがある。また、市民交流センターおあしす及び図書館については、毎年利用者満足度調査をアンケート形式で行っており、令和６年度については、９７％の方々より総合的に満足と評価いただいているところである。
坂野会長	今の説明について、何かご意見、ご質問等はあるか。
杉﨑委員	指定管理者が市民活動サポートセンターの業務も担っているのか。
生涯学習課	運営として担っていただいている。
杉﨑委員	フリースペースの活用方法の案は何か出ているのか。
生涯学習課	現状、市民の方々が来館した際、自由に使えるスペースとして利用いただいている。フリースペースとして開放することで、子供達が自由に活動をしたり、大人の方が勉強したりなど、気軽に使っていただけるスペースとして活用していただいているので、活用方法を大きく変えるという考えはない。
杉﨑委員	おあしす全体としてフリースペースが多いと思う。何かに活用していただきたいと考える。

生涯学習課	図書館での勉強スペースが足りないという意見が出ていることから、勉強ができるスペースの確保といった需要を賄う上でも、引き続きフリースペースとして活用していきたい。
坂野会長	杉﨑委員の意見については、運営を行っている指定管理者に直接伝えても良いだろう。
木村副会長	吉川美南駅東口に図書館はできるのか。
生涯学習課	図書館的機能を有する施設を計画している。駅南地区では、現状、視聴覚ライブラリーで本の貸し借りができるので、利用していただきたい。
中西委員	図書館内でコーヒーを飲みたいが、小さい子どもと一緒だと本を汚してしまいそうになり、コーヒーを買って飲むことができないという意見を聞いた。
生涯学習課	コーヒーに蓋をつけて飲むことができる。ルールに則ってご利用いただければと思う。
野澤委員	利用者について、どの年齢層が多いのか。
生涯学習課	年齢別の利用者数は把握していない。本評価シートの利用人数は、施設予約した人数のみであるが、実際に館内利用者の人数はカウントしていないので、利用人数はもっと多いと考える。
鈴木委員	専門書はどの程度あるのか。
生涯学習課	蔵書数の集計上、専門書という分類がないので不明であるが、どのような本を探しているのかということを図書館のスタッフに聞いていただくとご案内が可能である。また、５市１町で図書館を相互利用できるので、ぜひ広域な範囲で図書館を活用してほしい。
坂野会長	吉川市の図書館には、どのような本が多いのか、何を売りにしているのかなど、アピールできるような点があれば良いと考えた。指定管理者制度の特徴としては、市民の要望により、人気の高い本の蔵書数が多くなってしまう傾向があるようである。

木村委員	吉川市の図書館カードで他市町村の図書館を使えるのか。
生涯学習課	カードを別に作ってもらう必要があるが、お持ちであれば５市１町で利用できる。
米田委員	吉川市の公式ラインから図書館ＨＰにリンクできるのか。
生涯学習課	可能である。
斎藤委員	施設管理料は今後、上がっていくのか。
生涯学習課	指定管理料に占める人件費の割合が大きく、全国的に賃金が上昇傾向にあるため、今後も上昇していく見込みである。
	〇第２号　令和７年度 市民参画手続の進捗状況について
坂野会長	第２号議案について、事務局から説明願いたい。
事務局	（別紙、資料１、資料２、資料２－１を用いて説明）
坂野会長	今の説明について、何かご意見、ご質問等はあるか。審議会の開催回数に注目していただき、傍聴人の人数から市民の関心度が分かると考える。
木村委員	⑰公共交通対策事業について、傍聴人が１０名であるが、これは抽選であった。
事務局	これら会議の開催日時など市の公式ＨＰで見ることができるので、ご確認していただきたい。また、会議開催日が近づいたものについては、市の掲示板や１階ロビー及び２階庶務課に設置してあるファイルで確認することができる。
坂野会長	市役所に来れば審議会の開催日時は分かるが、ＨＰで掲載している自治体は少ないが、吉川市は市民参画を積極的に取り入れていると考えることができる。ぜひ、ご興味があったら、様々な会議を傍聴してほしい。
鈴木委員	会議をオンライン配信しないのか。
事務局	Youtubeで会議を開催したという事例はないと思う。しかし、会議を書面開催にし

	たり、オンラインで対応したという事例はある。条件がクリアされれば、様々な形での開催は可能であると考える。電子会議を行っている市町村もあると思うので、参考にしていきたい。
坂野会長	電子会議には問題があり、画面に個人を映し出すとプライバシーの問題になる恐れがある。一般的には書面で会議の様子をお伝えできるよう議事録を作成し、会議の内容を公開している。
事務局	市公式ＨＰにて議事録を掲載しており、市の掲示板にも掲載しているので、ぜひ確認いただきたい。
川口委員	事業計画について、議事録に掲載されているのか。
坂野委員	議事録と共に資料を掲載しているので、事業計画については資料からご覧になることができると思う。
川口委員	事業評価シートにおいて目標値の記載がない。目標値は、資料を見れば書いてあるということで良いか。
事務局	会議の内容が、目標値に伴う内容であれば記載があると考える。
川口委員	評価シートに目標値の記載がないものが多い。目標値の記載がない場合、目標値を達成できたのかどうか分からない。
坂野委員	吉川市では政策室で行政評価を行っており、目標値を掲げて事業が達成できたのかどうか分かるよう取り組んでいる。外部評価は行っていないが、内部評価は以前より行っている。一方で、中野区では外部評価を行っているが、かなりの資金がかかっている。
川口委員	外部評価は必要ではあると思うが、正直難しいと思う。税金を使って事業を行っているので、予算をかけた分の効果があったのかどうかの確認はしていただきたいと思う。
坂野会長	外部評価を行う際は、参加する一般市民もかなりの知識を身に着けることが必要である。吉川市は事務事業の本数が５００本なので、外部評価を行うことはできる規模

	だと思うが、かなり大変だと考える。ＰＤＣＡサイクルを考えると外部評価は大切であるが、市民に評価する意欲があるかどうかという点も考慮しなくてはならない。 他に質問事項がないようなので、すべての議題を終了とする。ご協力に感謝したい。
木村副会長	閉会の挨拶 （午前１１時２５分終了）

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和８年１月６日

署名委員　　野澤　愛里（自署）　　署名委員　　斎藤　和雄（自署）